

## 持経宿・平治宿の巡回整備

◇実施日 11月3日(水・祝) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、村吉光夫、高木妙子(伊勢、明和町) 4名

11月1日に村吉さんから「薪を切るためのウマを造ったので持経宿に持って行く。同時に半割丸太を平治宿に運ぶ」と連絡があったので、林道の通行を森林管理事務所の下北山駐在にFAXで報告する。

現在、湯川一郎君が自宅を新築中で、その工事を木下棟梁が請け負っている。工事現場を訪問した時、棟梁に持経宿のマキ用に端材の提供をお願いしていたが、工事はほぼ完了。「木屑をまとめてあるので取りに來い」と電話があった。

現場に行ってみると土のう袋が30袋近くあって、一度には車に積みめず2往復して運んだ。自宅の納屋に入れたが、通る道の確保がやつの状態になってしまった。早急になんとかせねばと思っていた時の村吉さんの電話であり、同行して少しでも袋を減らそうと考えた。梶野君に持経行きを伝えると、トイレの照明交換に行くということだった。

当日朝、12袋の端材を積んで7時30分に家を出る。R168から21世紀の森経由で8時55分に白谷林道ゲートに到着した。浦向経由とほぼ同じタイムだ。

程なく村吉車も到着、アレ助手席に誰か乗っている。

「高木です」と降りてきた女性が挨拶をされた。高木さんは我々の活動を理解・評価してくださって、コロナで大変でしょう?と、一昨年10万円、今年も5万円の御寄附を頂いた。お会いするのは2回目で、厚く御礼を申し上げた。

梶野君は少し遅れるようなので、2車3人で林道を進む。持経宿までに落石は無く一度も車を降りることは無かった。路面の状態も安定していて40分ほどで持経宿に着いた。到着後、それぞれの作業を始めた。



白谷トンネル西口



持経宿に到着



電球型LEDを外す

沖崎； 持参したマキ12袋の内2袋は玄関横のマキ棚に入れる。2袋は中身を出してマキ倉庫の棚に収納、残りは袋のまま倉庫の隅に置いた。続いて林道三差路に向かい、8月11日にトタンを被せていた持経小屋改装時の廃材をマキ用に小切ったものをマキ倉庫

に收容すべく、集めて車に積み始めた。廃材の小切る作業は8月1日にスズメバチの駆除の後、山川、梶野、沖崎の3人で行ったもので、山川さんの最後の作業となった。そんなこともあり、一本も無駄に出来ないとの思いで作業を続けた。散らばっているマキを林道に投げ上げ、車に積んで2往復。かなりの量があった。お堂前に降ろしたマキを手箕に積んで倉庫まで15往復位し、2時間ほど作業を続けた。遅い昼食の後、小屋内の整理も行った。

村吉、高木； 半割の丸太を一本持って二人で平治宿に向かった。持経宿帰着後の話では、平治宿までの奥駆道、平治宿小屋、水場径の迂回路に異常は無い。半割の丸太は今日の分を含めて3本、短い杭が22本。水場のグレーチング蓋を開けるときに枯葉が入る、ひと工夫が必要。平治宿小屋の窓に網戸が無く、ちよつと不便。などの報告・課題を頂いた。

梶野； R425も紅葉が進んできて、白谷トンネルを出たところで車を止め山並みを見渡した。白谷林道はスムーズに通行でき、1時前に持経宿に着いた。

トイレの照明を交換するために、車の室内灯用のLED4個と電子タイマーを準備してきた。既設のメカニカルタイマーと電球型LEDを外して、小便秘器前に1個、個室にそれぞれ1個、個室のドア前の梁に1個の合計4個の照明を取り付けた。新しいタイマーは1秒から999分まで連続して可変できるもので、現在の設定は10分にしてある。押しボタンを押すと10分間点灯した後に自動的に消灯、点灯している間に押しボタンを押すと消灯する。10分以上用を足す人はいないと思うが、短いようであればいつでも変更可能だ。取り外した電球型LEDはソケットと共に玄関横の倉庫に収納した。後日階下の倉庫奥とマキ倉庫に取り付ける予定をしている。



小便秘器前



タイマーとスイッチ



個室前に照明



個室内



マキ切り用のウマ



ゲートに帰着

梶野君からは、青木氏より連絡があつて11月19日〜21日大峯に入る。21日行仙の作業を手伝う。また持経宿のストーブは来春に届けるとの話があつたと報告を受けた。

久々に高木さんともお会いでき、充実した一日だった。

この日は一人の登山者(縦走者)にも会わなかった。白谷トンネル東口には数台の車が停まっていたらしいので、行仙岳や笠捨山には複数の登山者がいたようだ。

池郷林道の崩落箇所は復旧工事が進んでいるが、下北山村に聞くと、来年の2月か3月ごろに通行可能になりそうだ。

(記：沖崎)

## 行動タイム

白谷林道ゲート 09：00→09：45 持経宿 14：55→15：35 白谷林道ゲート